

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-------------------------|----|--------|----------|
| ○事業所名 | 相好トランポリンクラブ・児童福祉センター四日市 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年1月20日 | | ～ | R8年2月7日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 1名 | (回答者数) | 1名 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年1月20日 | | ～ | R8年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) | 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年2月19日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・広々とした活動環境(体育館・プレイルーム) ・充実した運動器具 | <ul style="list-style-type: none"> ・美化意識(日々の清掃) ・学校体育に沿った活動設定(跳び箱、縄跳び、鉄棒等) ・大きく体を動かせるような活動設定 ・安全に配慮した環境設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・広々としたスペースを活用した運動内容の立案 ・トランポリン以外の運動種目への取り組み ・トランポリン上での新しい遊びの考案 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・トランポリンや体操の経験者が指導していること | (運動面) <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく端的なアドバイス ・適切、適当な体の動かし方、器具の使用の指導 ・正確な体の使い方の手本 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達特性を理解した上での運動補助の仕方の習得 ・運動機能向上を促す専門的知識のアップデート ・発達特性と運動機能についての学び |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・上達度や変化が分かりやすい活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・体の動かし方の向上、模倣する力の上達などの到達度が分かりやすいよう、指標となる技や級の習得を用いている | <ul style="list-style-type: none"> ・進級ノートのような現状の到達度が視覚的に分かりやすいものの導入→達成感や自信につなげる |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・小集団での取り組みの中で、個別への対応が不十分 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援の柔軟性 | <ul style="list-style-type: none"> ・人員補充 ・職員同士の連携強化 ・特性に合わせたグループ分け ・福祉、専門的知識の習得(定期的な研修:社内外) |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎希望、待機児童のご要望に対応できていない | <ul style="list-style-type: none"> ・職員数の少なさ | <ul style="list-style-type: none"> ・人員補充 ・定員数に対して適切な環境設備 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部活動や地域交流の不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で完結する活動が多い ・長期休暇中も同じ活動をしている | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇を中心に野外活動を計画する ・クラブ主催イベントへ参加機会を作る |